

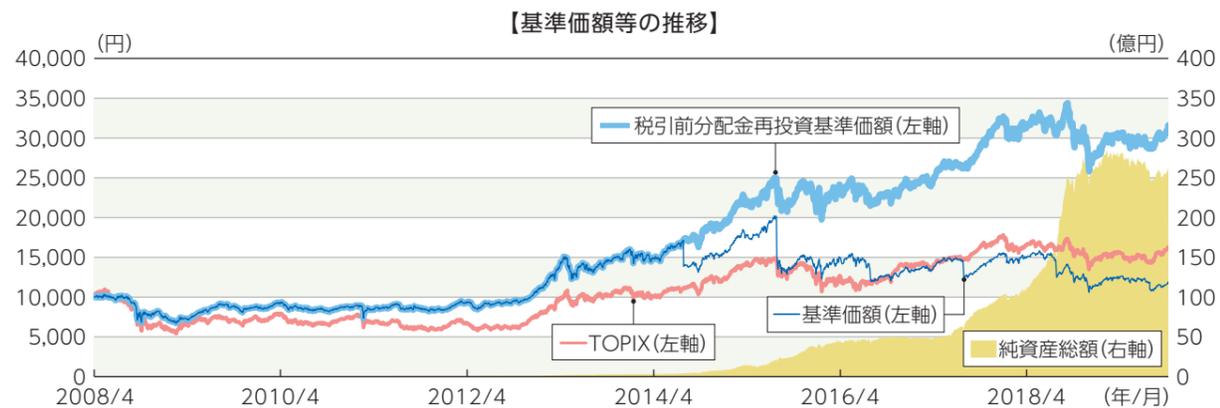
ニッセイ健康応援ファンド

追加型投信／国内／株式

ファンドの特色

1. 高齢化等を背景に成長が見込まれる健康関連産業に属する企業の株式を投資対象とします。
2. 健康への貢献につながる企業理念・哲学をもつ企業を「健康応援企業」として選定、中長期にわたり成長が期待される銘柄に厳選投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

TOPIXを大幅に上回るパフォーマンス



【騰落率の比較(2019年10月末現在)】

	1年	5年	設定来
当ファンド	5.5%	74.0%	215.9%
TOPIX	3.9%	39.3%	62.4%
差(当ファンド-TOPIX)	1.6%	34.6%	153.5%

【分配金の推移(1万口当り、税引前)】

第10期 (2017年8月)	第11期 (2018年8月)	第12期 (2019年8月)	設定来累計額 (2019年10月末現在)
2,000円	2,000円	1,000円	14,300円

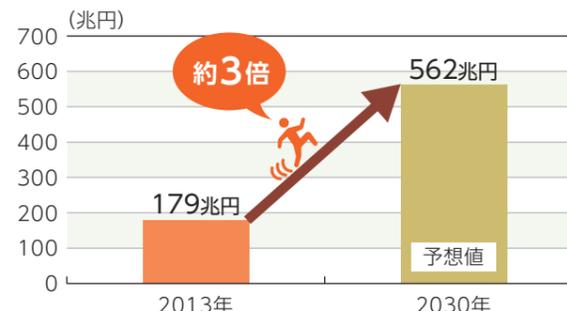
出所) プルームバーク等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間: 2008年4月25日<設定日>~2019年10月31日(日次)
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。TOPIXは配当込みのデータを用いて、設定日前日の終値を10,000として指数化しています。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。騰落率の比較にあたり、当ファンドは税引前分配金再投資基準価額のデータを用いています。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

成長が期待される健康関連産業

成長要因①

先進国における**高齢化**の進展と
新興国の**経済発展**

【世界の健康・ヘルスケア関連市場の規模】



出所) 日本再興戦略(2013年閣議決定)をもとにニッセイアセットマネジメント作成

成長要因②

医療分野を中心とした
技術革新

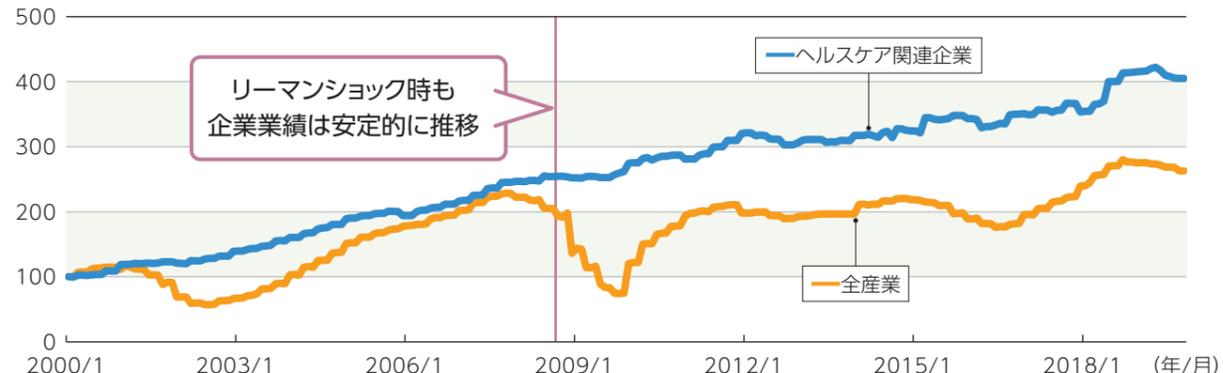
【技術革新の例】



健康関連企業の業績は安定的

■ 人々の健康にかかわる企業の業績は、景気変動の影響を受けにくいという特性があり、世界のヘルスケア関連企業の業績は安定的に推移してきました。

【世界のヘルスケア関連企業の業績】



出所) プルームバーク等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間: 2000年1月末~2019年10月末(月次)
企業業績: 2000年1月末のEPS(1株当り純利益)を100として指数化、ヘルスケア関連企業: MSCIワールド・ヘルスケア、全産業: MSCIワールド ※当ファンドは主に国内の株式を投資対象とします。海外の株式には投資を行いません。

株式市場において、「健康」は息の長い投資テーマ!

投資するタイミングに迷ったら

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は

設定・運用は



商号等: ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意いただきたい事項】 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。資料中の画像等はイメージをお伝えするものです。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。



息の長い投資テーマに投資したいけど
いつ買っていいかわからないな



投資タイミングって難しいよね

それなら

投信積立

で始めてみたら？



投信積立の3つの「できる」



長期投資

長期的に投資を続けることによって、
短期的な相場の動向に
左右されにくくなる傾向があります。



時間分散

投資タイミングを分けることで、
高値掴みや安い時の買い損ねを
避けることが期待できます。



銘柄分散

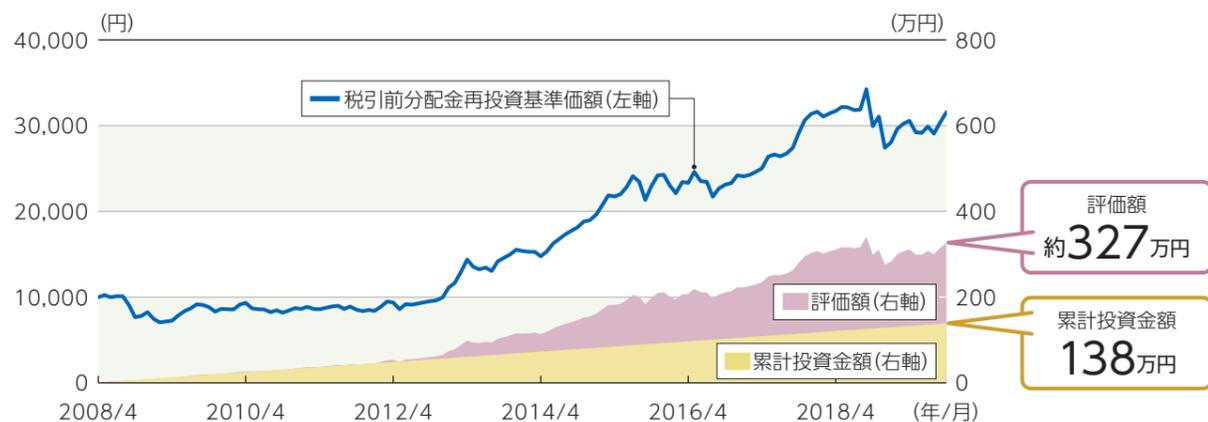
値動きの異なる複数の銘柄に
投資することで、全体の値動きを
緩やかにする効果が期待できます。

投信積立の
いいところ

購入タイミングに悩まない

定期的買い付けを行う投信積立なら、購入タイミングによる損益の振れ幅を抑えることが期待できます。

【当ファンドに毎月1万円ずつ投資した場合のシミュレーション】



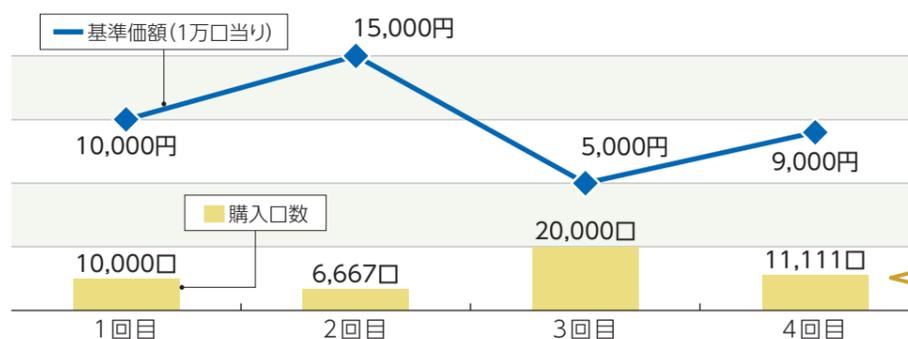
データ期間:2008年4月末~2019年10月末(月次)<当ファンド設定日:2008年4月25日>
税引前分配金再投資基準価額は2008年4月末を10,000として指数化
上記は、税引前分配金再投資基準価額を用いて簡便に計算したシミュレーションです。購入時手数料・税金等は考慮しておらず、実際の投資成果とは異なります。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

投信積立の
いいところ

平均購入単価を下げる

同じ投資信託などを定期的に一定額ずつ購入する投資方法を「ドル・コスト平均法」といいます。基準価額が高い時には購入口数は少なくなり、基準価額が安い時には購入口数が多くなります。結果として、平均購入単価を下げる効果が期待できます。

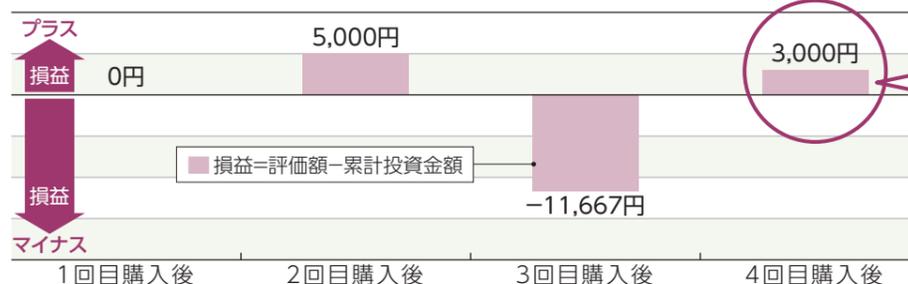
【投資信託を毎回1万円分購入する場合のイメージ】



基準価額が
高い時には少なく、
安い時には多く
買える

	1回目購入後	2回目購入後	3回目購入後	4回目購入後
累計購入口数	10,000口	16,667口	36,667口	47,778口
累計投資金額	10,000円	20,000円	30,000円	40,000円
評価額	10,000円	25,000円	18,333円	43,000円

1万円当り
平均購入単価 **8,372円**



基準価額が
9,000円になった
にも関わらず、
平均購入単価が
下がったことにより、
損益がプラスに

※上記は架空の基準価額を用いて計算したものであり、実際の基準価額を示唆するものではありません。また、購入時手数料等は考慮していません。ドル・コスト平均法は相場下落時における損失を防止するものではありません。

これからの「人生100年時代」、 積立投資でコツコツお金を育てよう!



【投資リスク】

- 当ファンドは、主に国内の株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落、組入株式の発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。
- 当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、「株式投資リスク」「流動性リスク」などがあります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【ファンドの費用】

- 購入時手数料: **上限3.3% (税抜3.0%)**
- 信託財産留保額: なし
- 運用管理費用(信託報酬): **年率1.6115% (税抜1.465%)**
- 監査費用: 上限年率0.011% (税抜0.01%)
- その他の費用・手数料: 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等
- 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。